



【紅葉が美しい多肉植物】

冬が近づくと、それまで緑だった落葉樹の葉が鮮やかな黄色や赤に色づきます。

多肉植物の中にも、美しい紅葉が見られるものがあります。落葉樹の場合、紅葉した葉は冬が訪れる前に落葉しますが、多肉植物の紅葉は冬季でも葉を落としません。春に暖かくなり、だんだんと葉が緑色に戻ってくるまで、長く紅葉を楽しむことができます。

紅葉する多肉植物としては、赤く色づくクラスラの火祭り、紅葉祭りやアナカンブセロスの桜吹雪、ポーチウカの‘ピンクキー’、オレンジ～黄色に変わるセダムの銘月、虹の玉などがあります。ただ、イチョウのような鮮やかな黄葉になる多肉植物はまだいいが見つからないので、セダムの黄金葉の園芸品種（‘ゴールドビューティ’など）を使っています。

多肉植物をキレイに紅葉させるには工夫がいります。9月から11月の間に肥料を控えたうえで、市販の「多肉植物の土」にはあらかじめ肥料が加えられていることが多いので、川砂・パーライト・腐葉土などを混合した「肥料を控えた用土」を使用します。屋外で寒さにあてるだけでなく、しっかり日にもあてます。昼夜の気温差が10℃以上を超えると多肉植物にストレスが加わり、紅葉が促されます。氷点下になりそうな場合は室内に取り込みましょう。雪や霜にもあてないようにします。室内に長く置くと、光不足で多肉植物が徒長して姿が乱れることがあるので難しいところです。どうしても日照を確保できない場合は人工光源で補います。

「多肉植物の紅葉」は単独でも楽しめますが、「紅葉の美しい多肉植物」を加えた寄せ植えにするのも良いでしょう。（写真・文：植村修二相談員）



乙女心



火祭り



銘月

'2025'をかたどった花壇

花とみどりの相談所では、地域での緑化活動の先導役となる緑化リーダーの発掘・育成を目的に、緑化リーダー養成講座実施しております。

今年も恒例の、養成講座(応用編)の受講生の皆さんが、講座の一環として苗作りからデザイン・植え付けまでを行い、花とみどりの相談所入口の花壇に、西暦「2025」の植え込みや寄せ植えを製作しました。また、門の前にはハボタンでかたどった今年の干支の「巳」を飾っています。是非ご覧になってください。



花とみどりの講習会

【春バラの冬剪定と育て方】

日時：1月25日(土) 10時～12時 場所：花とみどりの相談所
講師：同所相談員 植村 修二 定員：24人
申込：1月18日(土) 9:15～ 電話可 費用：600円

花とみどりの相談

相談時間は、**火曜日・木曜日**の
午後1時から4時30分までです。
電話による相談も行っています。

花とみどりに関する相談を受け付けて
しています。お気軽にどうぞ!

《1月の休所日》
毎週の日曜・月曜日と14日(火)です。
年始(1/1～1/3)は、休所します



豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曽根南町1丁目4番1号(豊島公園内) 阪急宝塚線 曽根駅南 約500m

TEL 06-6863-8439

FAX 06-6863-3638